作成日：2023 年 9 月 14 日　第 1.0 版

表題：ICG 蛍光ガイド胸管イメージングを用いたロボット支援鏡視下食道手術

Thoracic duct imaging using ICG fluorescence in Robotic Esophagectomy

１．研究の対象

対象となる方：胸部食道癌で鏡視下食道手術を受けた方

調査対象期間：2022 年 3 月から 11 月までに手術された方

２．研究目的・方法

目的：今回視下食道手術での **ICG** 蛍光ガイド胸管イメージングの有効性および安全性評価する

研究期間：2022 年 3 月から 11 月まで

３．研究に用いる試料・情報の種類

☒ カルテ情報（氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く）

☒ 画像　　☐ 検査結果　　☐ 血液　　☐ 尿・便　　☐ 腫瘍組織

☐ その他（詳細：　　）

４．外部への試料・情報の提供

☐ あり（提供先：　　）

☒ なし

５．資料情報の取扱い

提供方法：　☐ 配送　　☐ インターネットを介して　　☐ その他（詳細：　　）

保管場所：

保管責任者：

保管期間：

当センターにおける管理責任者：栃木県立がんセンター 理事長　〇〇 〇〇

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織

栃木県立がんセンター食道胃外科

科長

松下尚之

6. 利益相反

臨床研究における利益相反(COI:Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。
具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。
なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

☐ あり（企業名：　　）

☒ なし

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、お申出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、対応できないことがあります。

※照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：
栃木県立がんセンター食道胃外科
科長
松下尚之

研究代表者：
栃木県立がんセンター食道胃外科
科長
松下尚之